



『淡路島活性化へ向けた目的達成への階段』

全国展開支援事業の活用へ

淡路島オニオンキッチン(今年度より組織名変更)

(委員長 野水瓦産業(株) 野水直哉)

『淡路島の地域資源を活用し、淡路地域全体の活性化を図るための取組を行う。その為に、メンバー一丸となり、非妥協・労務コスト無視・究極の顧客満足の追求』をビジョンに掲げ、活動も4年目に突入しました。

今年度より、組織名を「地域資源活用研究会」から「淡路島オニオンキッチン」に変更しました。

昨年度より淡路島たまねぎを活用した特産品開発に取組んでおりますが、今年度はより具体的に商品開発をし、試作品販売をしております。

この度は、色々と質問を受けている内容について掲載させて頂きます。

1.「淡路島オニオンキッチン」とは?

「淡路島オニオンキッチン」は平成18年度から発足し、淡路島を愛して止まないメンバーが中心となり、農業・漁業・地場産業・観光産業とバランスの取れた地域である淡路島から誕生したプロジェクト(企画・計画事業)です!

全国3位の出荷量である淡路島産玉葱のイメージは全国各地にてアンケートを取った結果「甘い:41.2%」「おいしい:37.7%」と非常に高い評価でありながら、一方で「他産地のもの」との違いが分からない:11.5%「知らない:25.9%」という評価があります。

そういった中で、淡路島オニオンキ

ッチン「は、淡路島産玉葱をその場ですぐに甘くてうまい!という良さを伝えるのは難しいな」と判断し、新たなご当地グルメである軽食メニュー開発をすることにより、淡路島産玉葱の特徴を色んな方々に知って頂き、淡路島の良きサポーターになつてもらえたら!情報発信者になつてもらえれば!と考えています。

そして、そういった皆様の行動が、淡路島をより素晴らしい「愛ランド」にするためのきっかけになると確信し「淡路島オニオンキッチン」は活動しています!

2. Oni-on(オニオン)とは?

私たちが感動を覚え、心を打たれたオニオンフライを提供する商品がこのOni-on(オニオン)です。

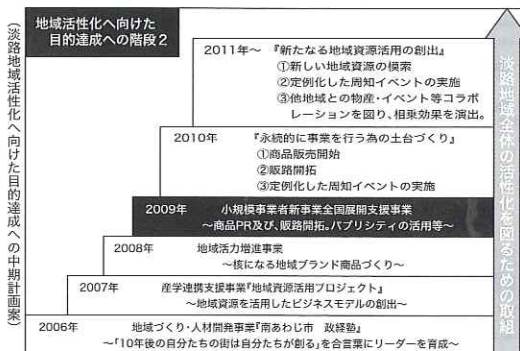
「おのころ島」で育まれた「オニオン」が由来...

「淡路島オニオンキッチン」における商品シリーズの総称です。

3.「淡路島オニオンキッチン」の今後について

人口減が進む淡路島において、たまねぎを活用した3次加工品での産業創出を図り、新たな雇用の場を作り出して地域の活性化を図るため、がんばっています。

その後においても、次々と可能性のある地域資源を活用し、リニューアル



を図っていくための活動をしていきたいと考えています。

ジャパンブランド育成支援事業

アジア市場制覇に向けた淡路瓦の挑戦

—淡路瓦プレミアムの確立—

今年度は、淡路瓦プレミアムを確立するために、首都圏・上海・台湾・UAEというターゲットにより異なるエリアマーケティングを採用し、それぞれの地域で淡路瓦の確固たるプレミアムを確立させることを目指します。

①首都圏

昨年度開発した「エコ瓦」は展示会において高い評価を受けるとともに淡路瓦がエコに取り組む姿勢を強くアピールすることができた。今年度も引き続き「省エネ」「環境共生」へのニーズに対応する試作品を開発し、実用化に近づけたい。緑化技術とハニカム構造を瓦や壁材に応用した建材、さらに展示会で最も注目を集めた「こけ瓦」については産学連携によりバージョンアップ版を開発する。

②上海

広大なスケールで市場開拓を図るには信頼できるパートナーが不可欠である。この課題を克服するため、淡路瓦の現地代理店と提携し寧波(ニンポウ)にアンテナショップを開設しているが、ここをマーケティングの拠点として市場を開拓し、与信管理を含め物流・商流を整備する。

③台湾

今年度、台湾における目標は高級瓦市場の開拓と三州が持つ市場の奪取である。市場規模に

一定の魅力があると判断できることから今年度は、「メイドインジャパン」を訴求し、ブランドイメージを飛躍的に高める。台北の代理店を基点に、マーチャンダイズする。

④UAE

夏は50℃近くまで気温が上がる一方、夜間は10℃近くまで下がり、また2~3月には強い北風の影響で砂嵐が舞うというUAEの砂漠気候に耐える瓦が必要である。淡路瓦のくわしい施工例やサンプルを現地の業者に提示済みであり、昨年度、首都圏向けに開発した「エコ瓦」に産学連携で改良を加え、過酷な状況下で使用できる瓦の開発を進め、市場開拓を図る。

